

# からだの仕組みに関する学術講演

**Stéphane Dellioux**

(日本学術振興会外国人特別研究員, 筑波大学)



## **Oxygen: a major protagonist of muscle sensing**

(酸素：筋内センサーの主役)

日時：11月20日（金）10:00～12:00

場所：発達科学部 中会議室 B

運動中筋では酸素が多量に使われるため、活性酸素も生成される。酸素と活性酸素が筋内の感覚受容器を刺激するため、筋の活動の情報源になる。今回は、筋活動時にこの情報源がどのように重要なのか最新情報を提供するとともに、国際的な研究交流のあり方についても意見交換を行う。

### 【大学院生による発表】

天野達郎（人間発達環境学研究科前期課程1年）

The heat loss responses to isometric exercise under mildly hyperthermic conditions in sprinters and distance runners

梶田裕輔（人間発達環境学研究科前期課程1年）

Analysis that the factors affect one's sports preference of physical activities and sports needs among middle and older adults

### 【招へい者略歴】

Dr. Stéphane Dellioux 生理学者・医者

1975年にフランスで生まれ、2003年 Timone 大学医学部を卒業し、医師免許を取得。その後、2007年に Méditerranée 大学にて、生理学で博士号を取得する。2004年から2009年まで、Méditerranée 大学での研究員、Marseille 大学での教員を歴任。2009年度の日本学術振興会特別研究員に採択され、同年度5月に来日。